

## 冬宮

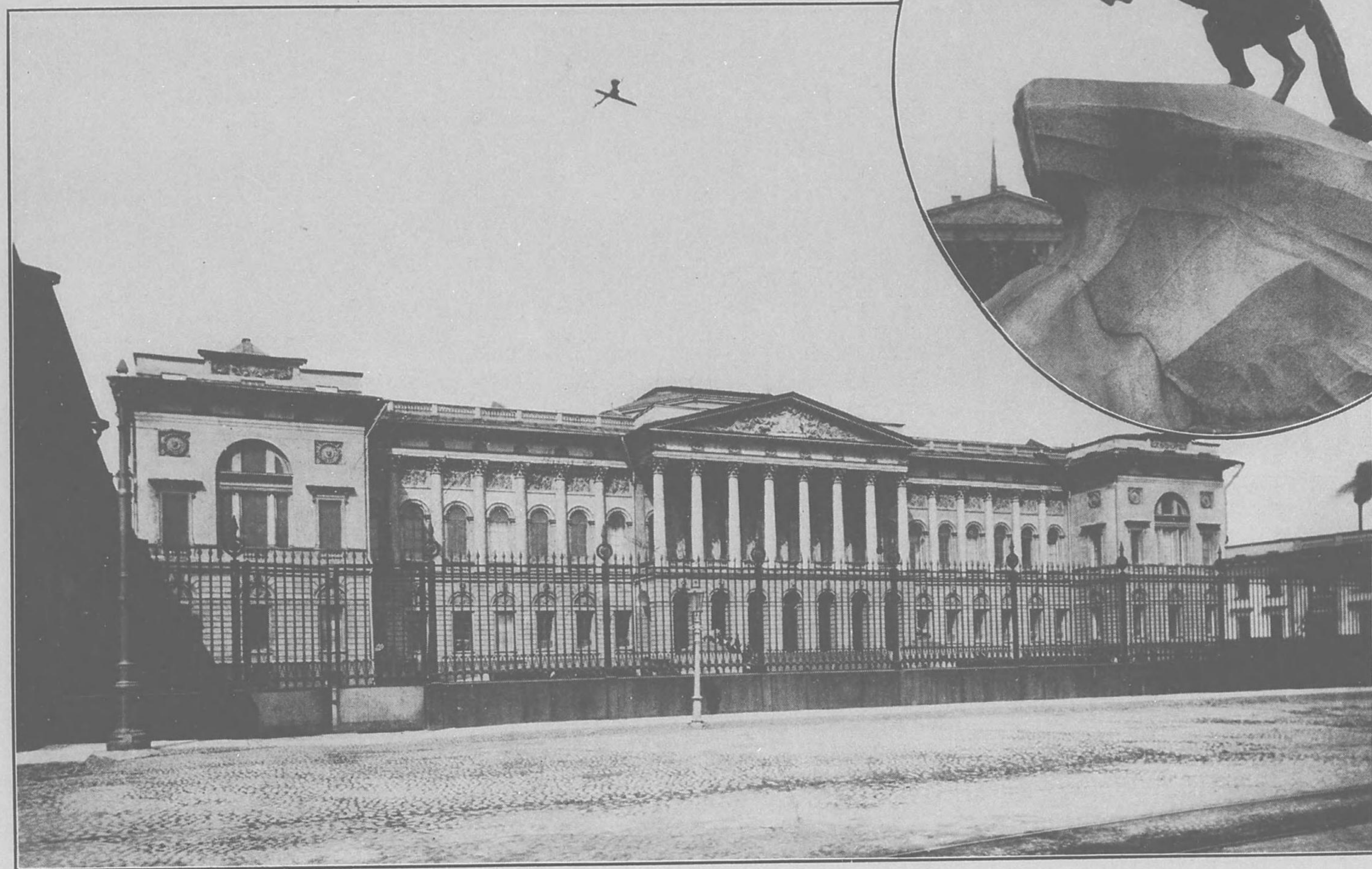
西曆一千七百十一年ピーター大帝の創造する所にして初めは其規模小なりしも其後大に擴張せしか不幸一千八百三十七年ニコライ一世の時火災に罹り後ち二年再ひ建立せられたるもの即ち現今の冬宮なり其位置ネワ河畔にあり又一方は直に市街の普通商店に接續し何等の障壁を設けず而して皇帝の此宮殿に住居せらるゝときは宮丁男女實に六千餘人を使用せらるゝと云ふ殿内の一室には英明の君主アレキサンダー二世の室あり帝が臨終の儘を永久に表はすものにて即ち其机上の時計は一千八百八十一年五月十三日午後三時三十二分を指示しまた吸ひ残りの巻煙草其他血痕斑斑たる當時の衣服帝が最後の呼吸を引き取りたる寢床等觀るものをして轉々慘の感を起さしむ。

### 彼得大帝の像

像はネワ河畔元老院側廣場にあり土臺は巨大なる芬蘭土産大理石にして上には大帝の乗馬にて大蛇を踏まへられ右指を以て大學の方向を指示されし像を安んず之れ舊き弊害を大蛇に擬し之を除却して新知識を發輝せしめんとの聖意を示したるものにて露國の國民に深き印象を與へ居るものと如し。

### 亞歷山三世博物館

元のミハキロフスキー宮殿にあり華麗の博物館にして露國美術の淵藪たり。





### カザン 聖堂

カザン聖堂は露都ネフスキー街に在り建築壯麗の大聖堂にして内にマリヤ聖母の像あり法衣全部金貨幣より成り寶石及び眞珠を鑄む其價十萬圓なりと傳ふ此黄金像は元とカザン市に在り靈驗顯著なるを以て聞え後此地に勸請せられしも今尙其名を存す現に庶民の信仰甚だ厚きのみならず皇室の崇敬最も深く皇帝旅行の前後には必ず參拜無事を禱らるゝと云ふ。

### 三一 聖堂

中央高く突出するものは三一聖堂と稱し露國の行謂招魂社にして忠魂義魄を此處に祀る圓屋頂の周圍には四箇の鐘樓あり圓柱はモノリット大理石を用ひ長さ各百五十尺其數總て百十二箇を算す壁の内外面は佛伊産大理石にして院内用ゆる什器は悉く金銀製なり其右に直立する銅像は西曆一千八百七十七年土耳其國と戦争後記念の爲めに建設せるものに關り其圓柱部はブレブナの戰に鹵獲したる大砲を以て造らる。







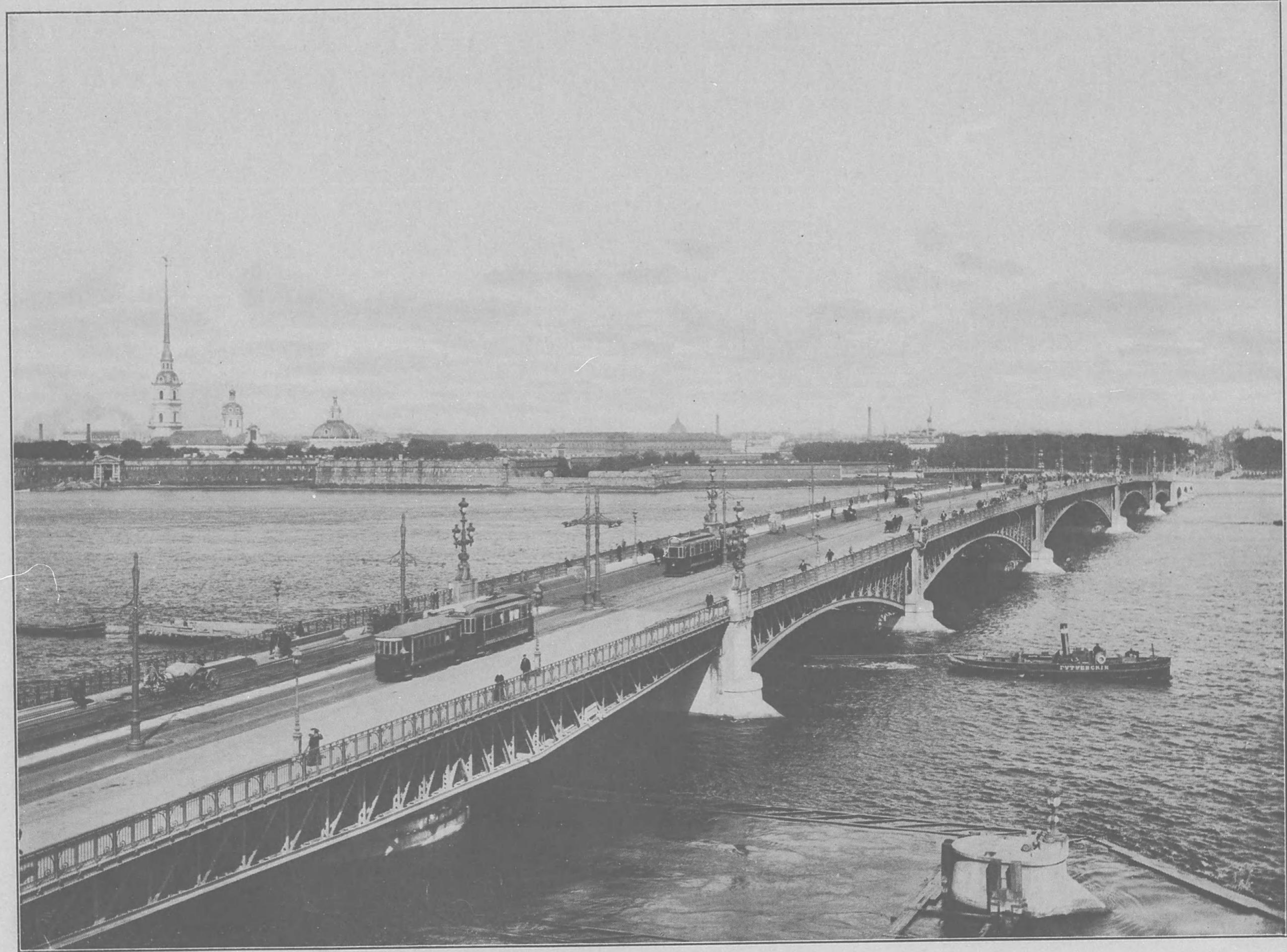
## 露都大通

ネフスキー・フロスペクト街は露都聖彼得堡市の大通にして頗る繁盛の街衢たり冬季毎日午後二三時の交に至れば肩摩穀擊殆ど歩行に苦しむ。圖中左方に黒く見ゆる建築は勸工場にして左に續いて白く聳ゆるは市廳なり。

取引所

露都商品取引所は冬宮と河を隔てゝ其前面にあり商業用建築物として頗る異彩を放てり。





トロイッキー橋

トロイッキー橋はネワ河に架せる大橋にして大船來る毎に左方の一部迅速に開閉して通船せしむ亦遠く彼岸に聳ゆる尖塔はペトロ・パウロフスキー城塞内の聖堂にして歴代皇帝の靈柩を安置する所なり

ニコライ橋

ニコライ橋はネワ架橋中最大最美の橋にして橋柱七箇皆大理石より成るワシリーリエフスキー島岸に沿へる橋柱に特種の設備あり以て汽船の通航に便にす。





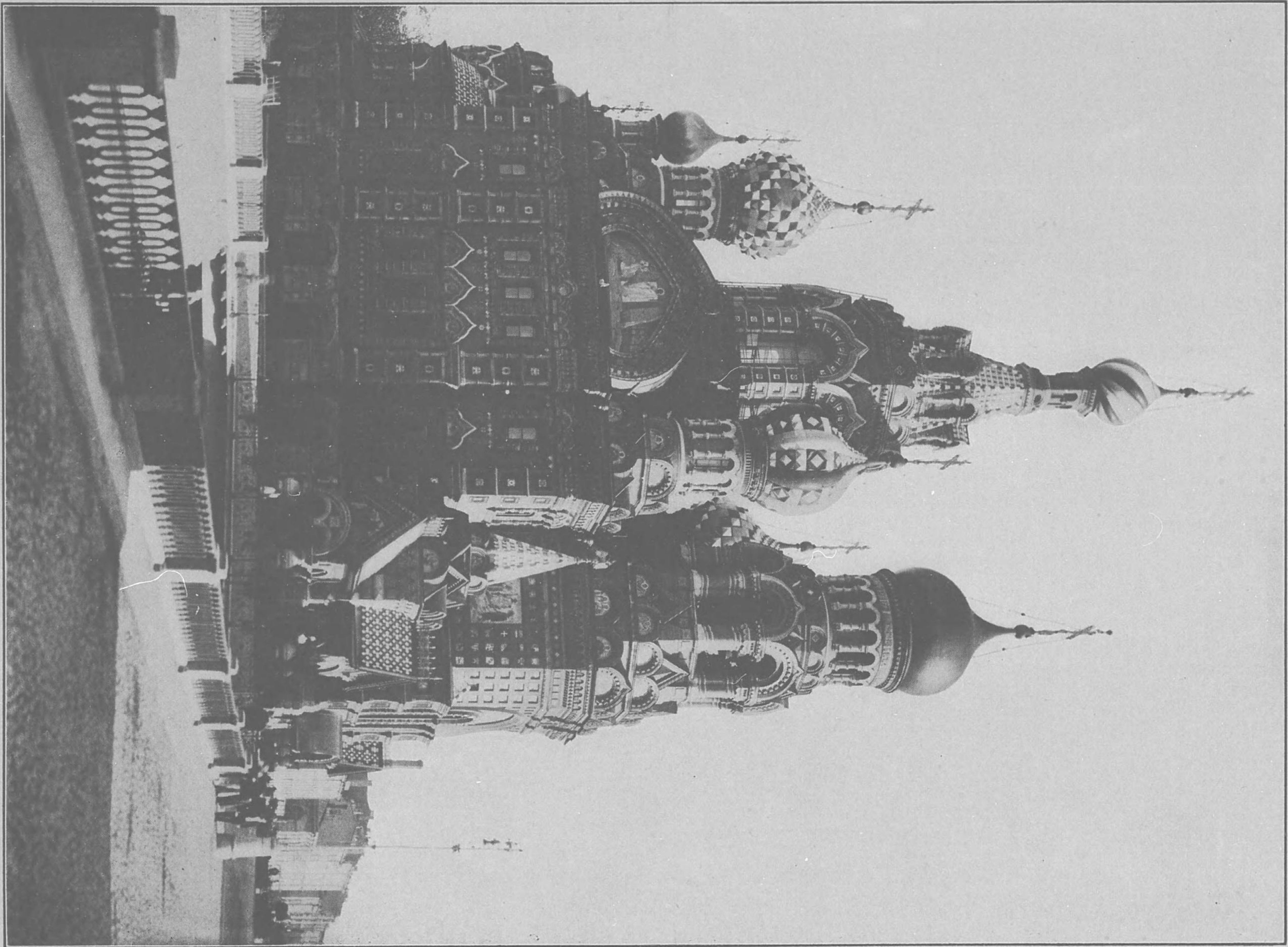


### リテイヌイ橋

リテイヌイ橋はネワ河上に架する大橋にして此圖は醫科大學の所在地なるヴィボール區より撮影したるものなり此地より十分間にして芬蘭士行鐵道停車場に至ることを得更に二十哩餘にして同地に達す橋の右端はプロスペクト街にして右方二煙突ある建築物は二百年以前の大砲製造所なり今尙門前に古昔の大砲を陳列しつゝあり。

### アレクサンダー 聖堂

ネワ河畔にあり西暦一千八百八十一年三月一日アレクサンダー第二世陛下馬車にて此地を通御ありし際匪徒の爆裂弾に中り崩御あらせらる其地道路の中央なりしも收めて此堂の敷地となし工費二百五十萬圓を以て建設せしものにて露國第一の聖堂と稱せらる結構壯大華麗屋頂の形狀色彩箇箇異り内部の構造我寄せ木細工の如く異石を集合して疊み成じたりと云ふ。



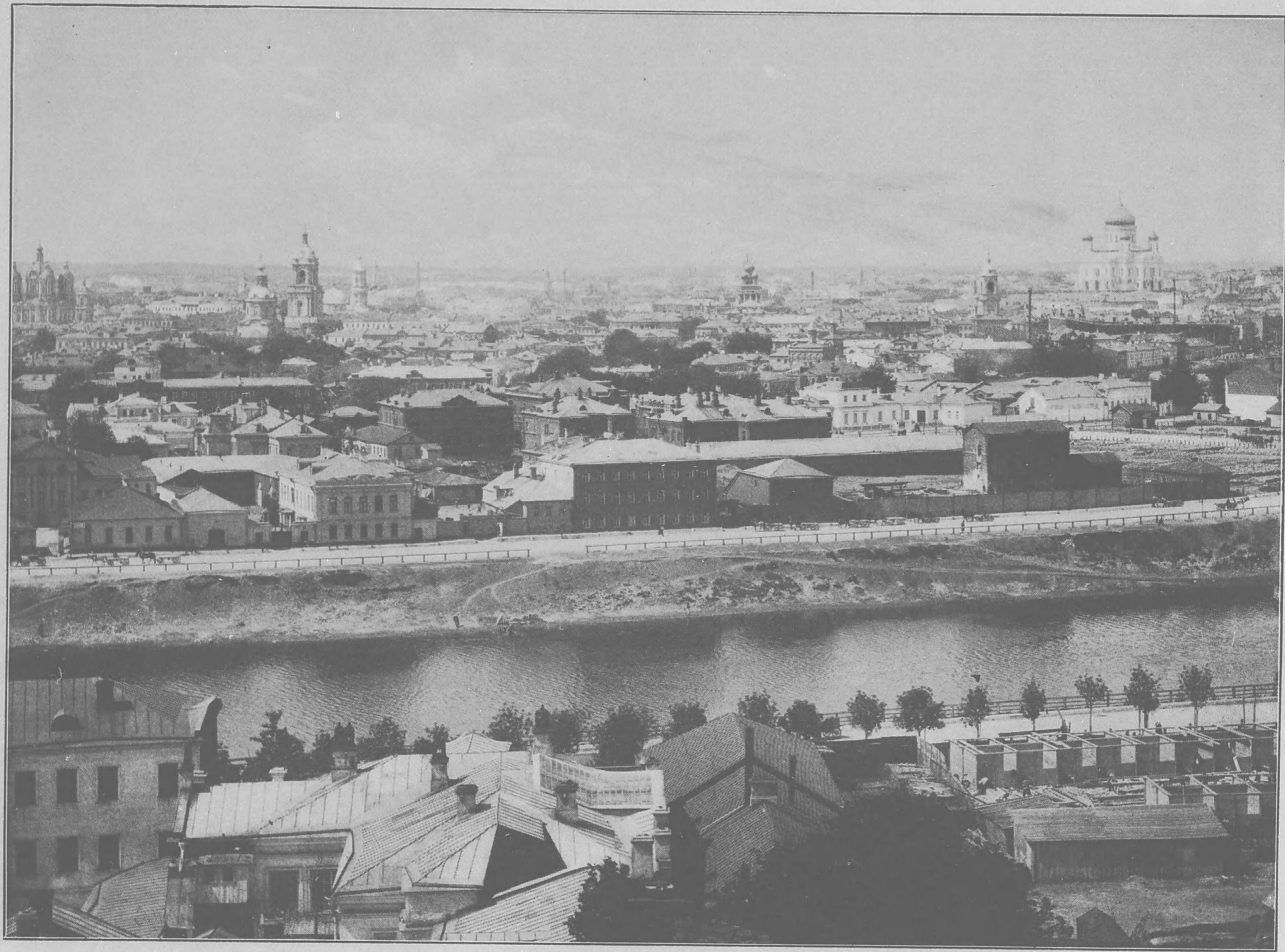


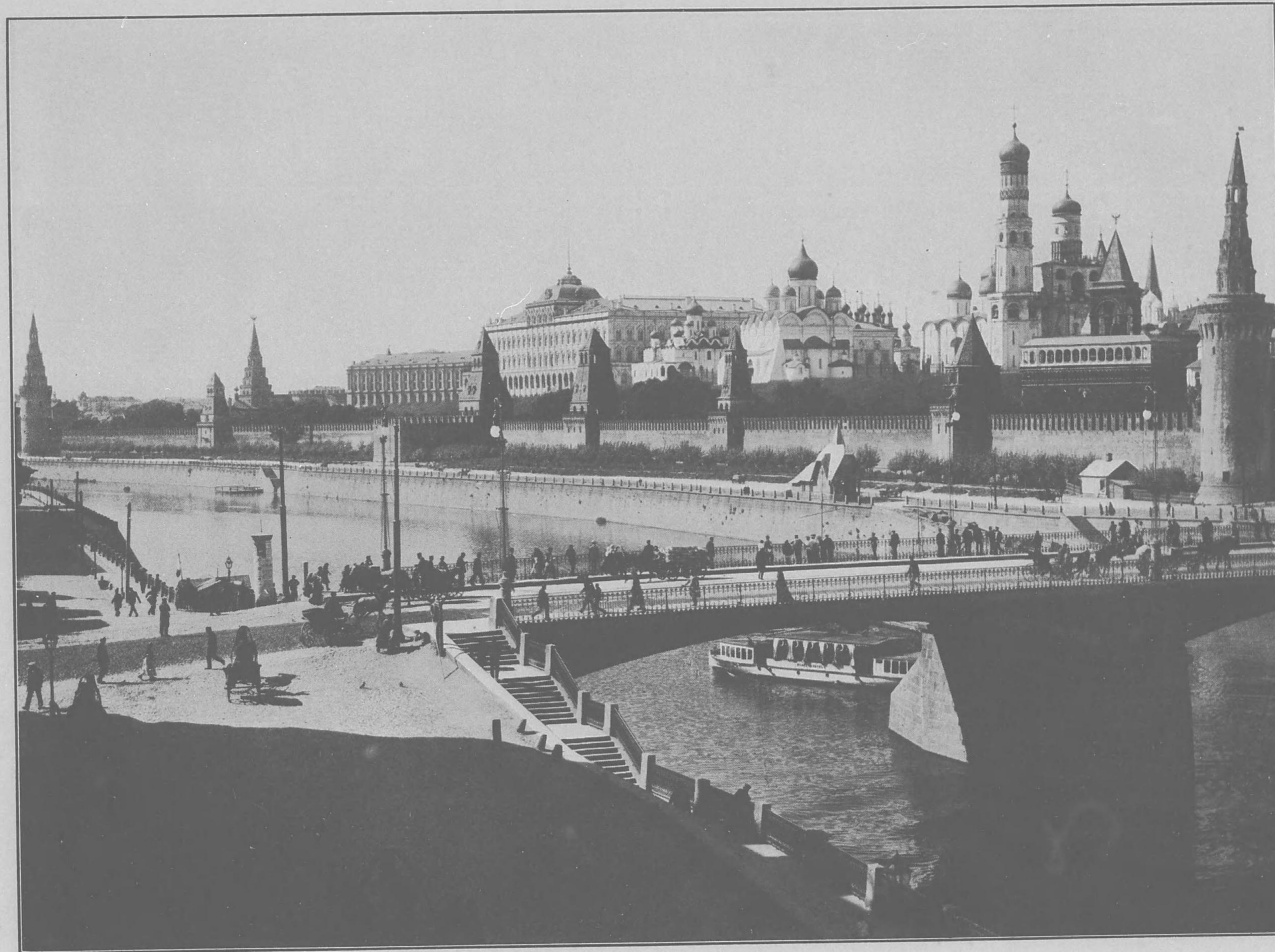
### モスコー市街

圖はモスコー市街の一部にしてクレムリ宮に近し古代罪囚の刑場たりしも今クラスナヤ・プロシチャジ(紅原)と稱す圖中の左方大建築物の前面銅像の後に纔に見ゆる圓臺は即ち古の刑場右なる尖塔はクレムリ宮の城廓中央なるは福ワシリイブラゼニ聖堂なり。

### モスコー全景

モスコーは露國の舊都にして又商工業の中心たり人口百二十萬製造所八百以上を算す市内名所舊蹟少なからずクレムリ宮の如き最も著名なるものなり同市は始め此クレムリ宮を中心として漸次膨脹したるものなるを以て市の區劃は恰も圓形を幾重にも描きたるものゝ如くモスコー河を挾んで市を爲せり而して其右岸方面は丘陵起伏し地形優美なるを以て市の重なる部分は此方面に發達し左岸は一面平坦の地勢にして我東京の下町の如き觀あり此市は最も古都たるの故を以て古代ビザンチン式の建築法に東洋風を混じたる聖堂の數は四百餘にして到る處に兀立し世界の都市中其比を見ざる異觀を呈せり圖中右方上部の大建築物は同地大聖堂なり。







モスコ、クレムリ宮殿(其一)

圖中堀割を隔て城壁圍繞するもの即ち是れ有名なるクレムリ宮殿なり此の城は漸次數多の建築物より成り宮殿正面の長さは六十五間餘高さ頂上まで二十五間半あり西側の建物を寶物陳列場及東宮御所とし宮殿正面の玄關には花崗石の大柱石四本あり此處より長大なる石階を上れば順次内殿に入り各室の名稱を勳章に依り區別す即ちゲオルギー勳章の間アレキサンドル・ネフスキー勳章の間アンドレーベルウオズワンスイ勳章の間等著はる此他儀仗兵室、謁見室、皇帝寢室、化粧室、王妃黄金の間等あり本圖中に高く突出するものは宮殿に屬する聖堂の圓屋頂にして鐘樓にはモスコ名物たる鐘の王の殆んど半はなる巨鐘を吊るせり。

モスコフ、クレムリ宮殿(其二)

アレキサンドル・ネフスキー勳章の間

アレキサンドル・ネフスキーとは千二百四十年代に於ける露國大公爵にしてイジヨラ河畔に於て瑞典人を撃破したる名將軍なり事は彼得大帝の世に在り因て記念のため長く勳章の名に命じ後又宮殿中一室の稱に充てられたり室内金色燦爛として美觀眼を眩せんとし四壁には更に各縣の徽章を懸け其壯嚴を盡くし左右釣りランプの電球は其數三千五百に上ると云ふ。





モスコ、クレムリ宮殿(其二)

ゲオルギー勳章の間

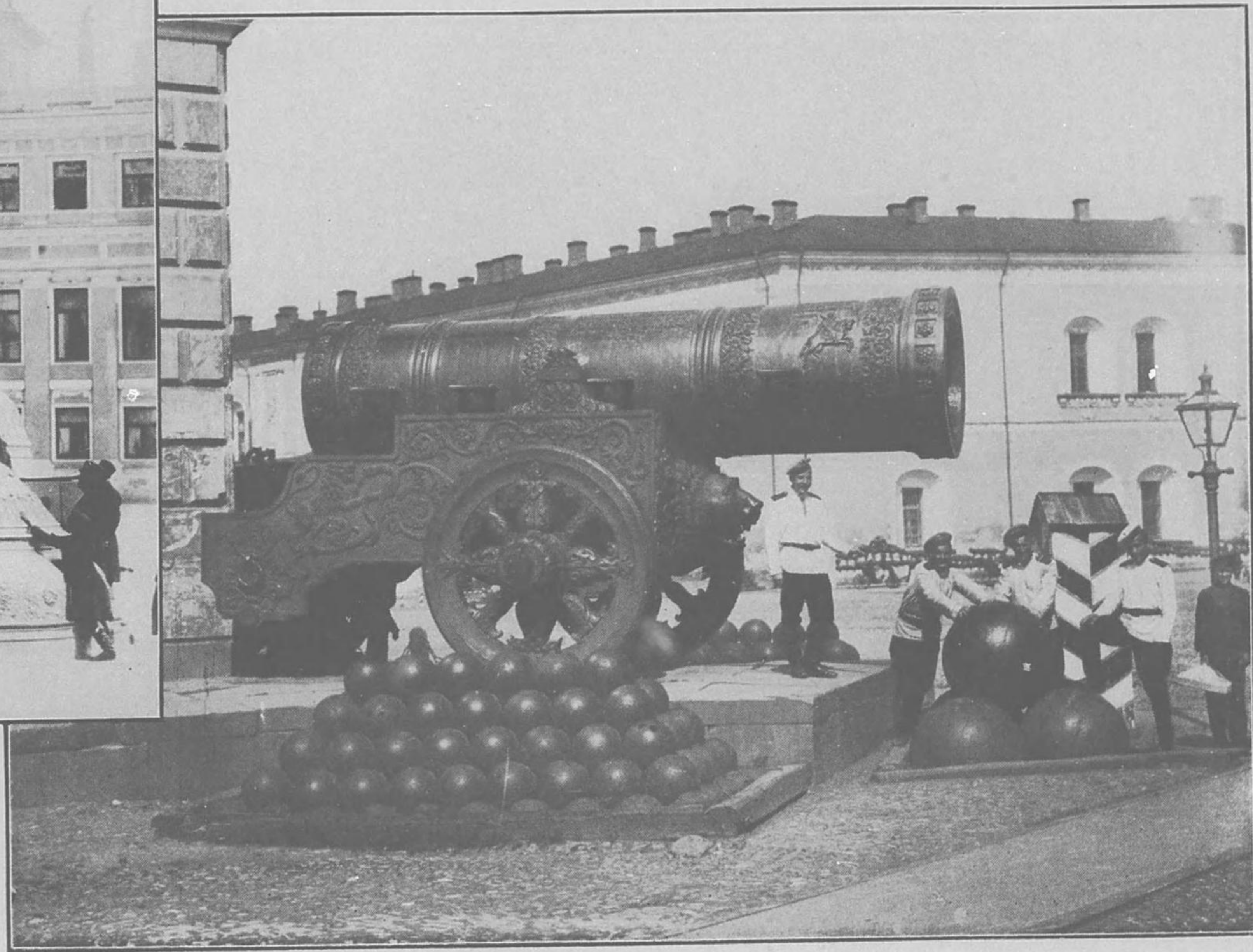
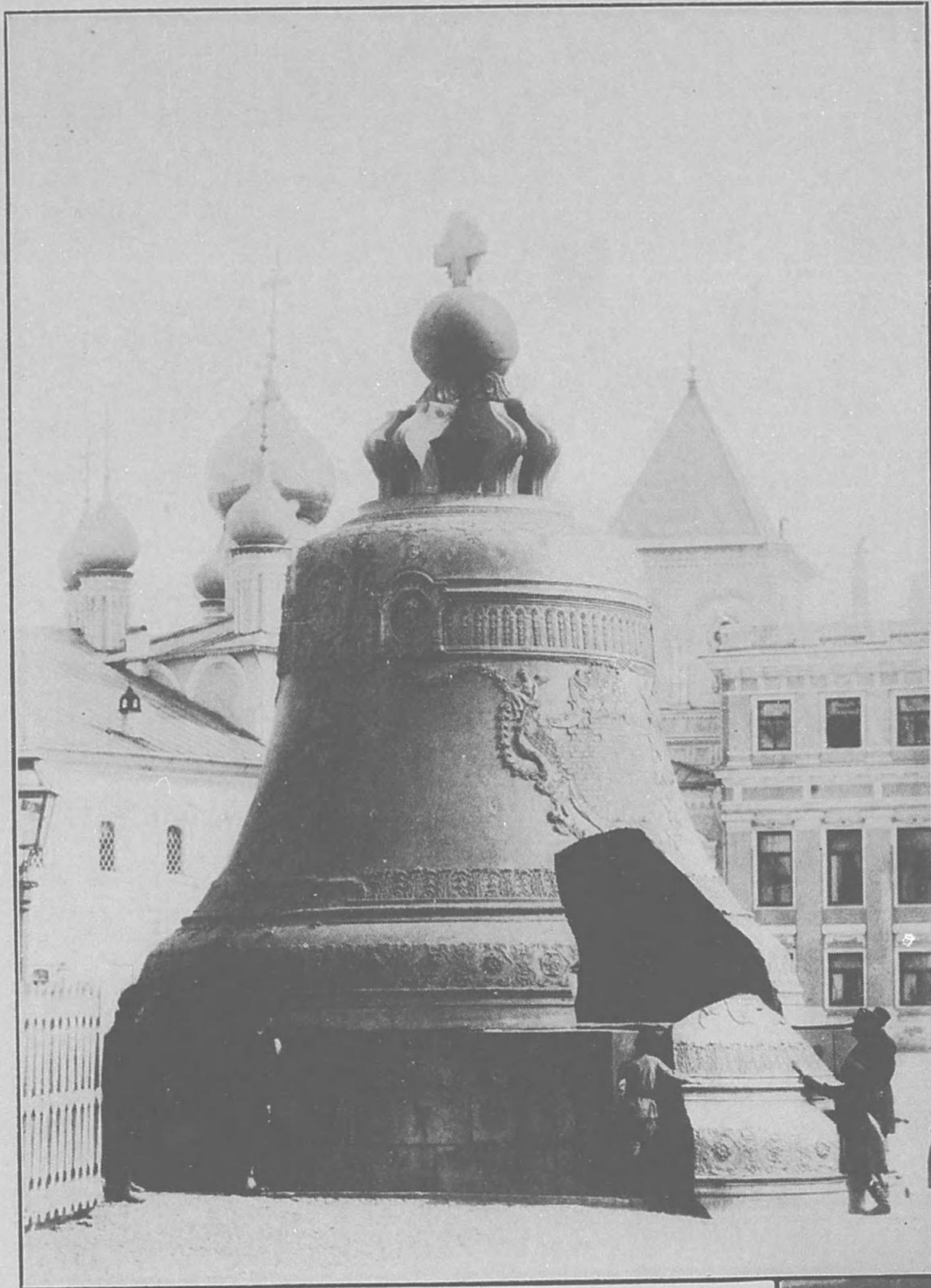
ゲオルギーとは宗教界に著名なる大致命者ゲオルギーを指せし者にして露國には此名を附したる勳章あり恰も我金鷄勳章に等しき名譽の勳章にして戦争の殊勳者に與ふるものなりクレムリ宮殿には特に此名を附したる一室を設けらる宮殿中最も廣大なる室にして長さ三十五間、幅十一間、高さ九間餘あり床板は寄せ木細工を施し四壁の大理石には本勳章受領者の姓名を刻し室内六箇の大電燈には電球の數三千餘を有すと云へり以て其壯嚴を推知し得らるへし。

モスコフ、クレムリ宮殿(其四)

謁見室

即ち各國代表者を引見せらるゝ處にしてクレムリ宮殿内に在りレネサン式の裝飾を施し壁は絹地に金糸を縫込める金襴様の織物を以て張りつめ大燭臺は露國陶器工場の製に依て日本趣味を模倣し兩側の燭臺は更に支那趣味を模倣したるものなりと云ふ。







### モスコー大砲

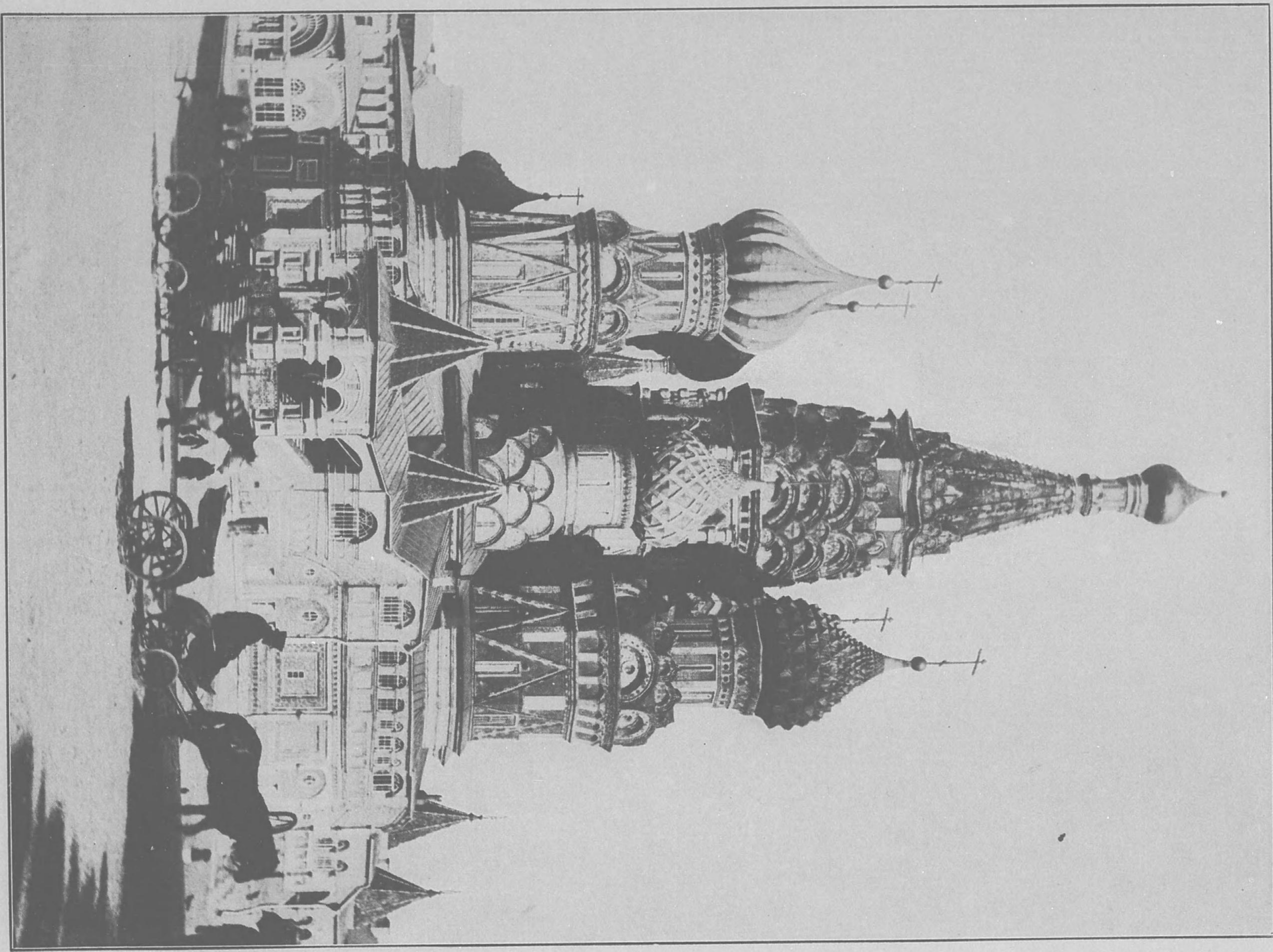
クレムリ宮殿に存する大砲にして西暦一千五百八十六年アン  
ドレキ・チエホフなる者之を鑄造す重量一萬一千六百四十五貫  
匁長さ二間四尺強口徑一尺七寸餘砲彈の重量五百八十貫八百  
匁あり未だ一回も發射せざるものなれども假りに之を發射す  
る時は火藥百四十五貫匁を要すへこと云ふ此大砲はツァリ！  
プーシカ(大砲の王)と稱せられ未だ一回も鳴らさざる大鐘と共  
にモスコーの二大名物なり。

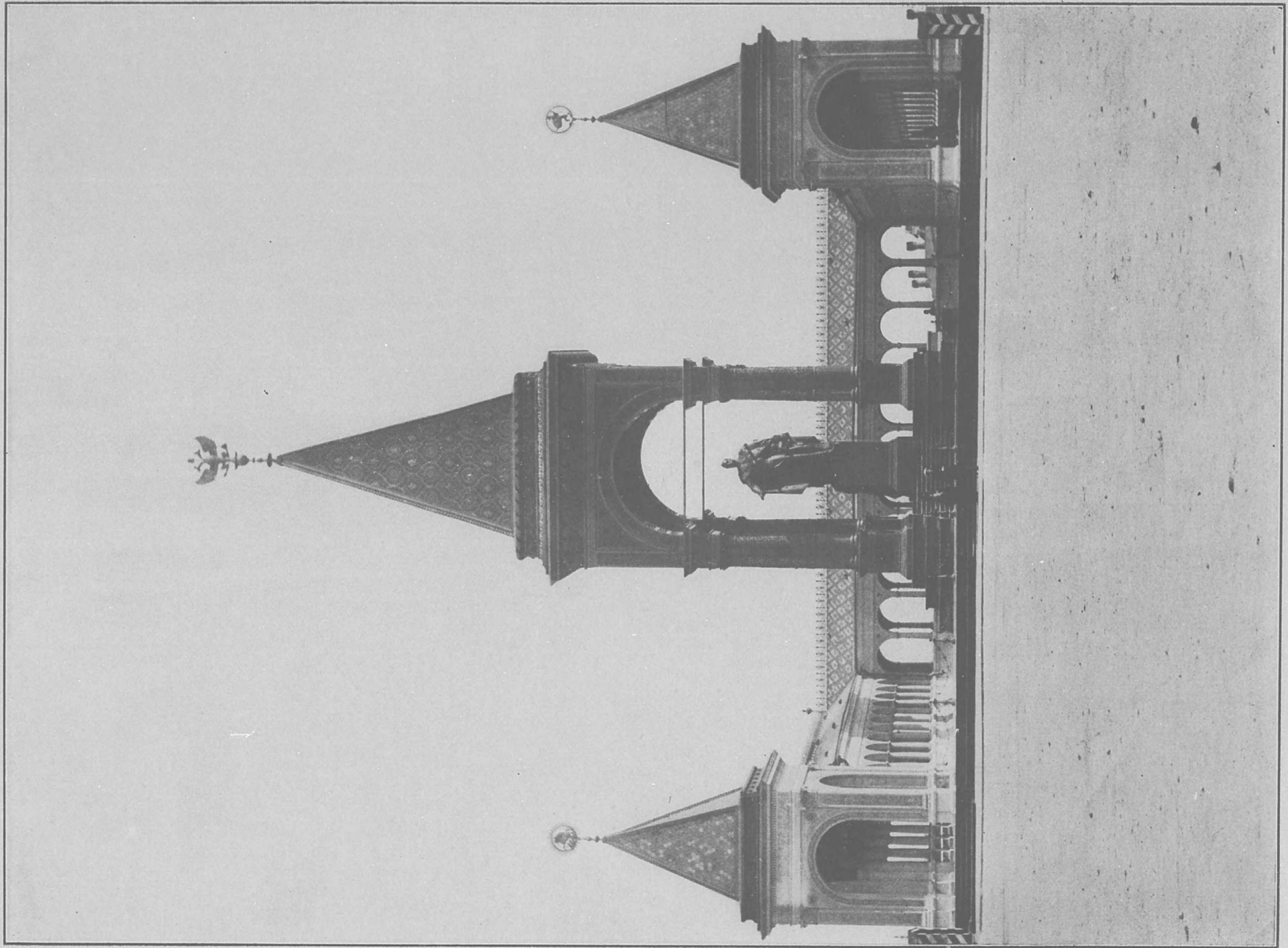
### モスコー大鐘

西暦一千六百五十四年の鑄造に係る巨鐘にして初めイワン・ウ  
エリキー鐘堂に掲げられたれども數度墜落破損せしを以て  
後更に之を鑄造し鐘堂に納めじも一千八百三十六年再度墜落  
破損の儘現時クレムリ宮鐘樓の附近に在り重量五萬九千六百  
六十二貫匁餘周圍六十尺鐘舌の長さ一丈七尺五寸あり曾て出  
火の際に水を注きたるため一角破壊し破片今に鐘の傍に存せ  
り此鐘始め勅命に依りて鑄造されツァリ・コロコル(鐘の王)と  
稱さる。

福ワシリイブラゼニ聖堂

聖堂はモスコイ市クラスナヤプロシチャヂ(紅原)の一端クレム  
リ宮附近にあり建築舊式にして天井低しと雖も屋頂の形状色  
彩箇箇異り壯麗にして市中の一美觀たるを失はず一名ポクロ  
フスキ―聖堂と稱す。





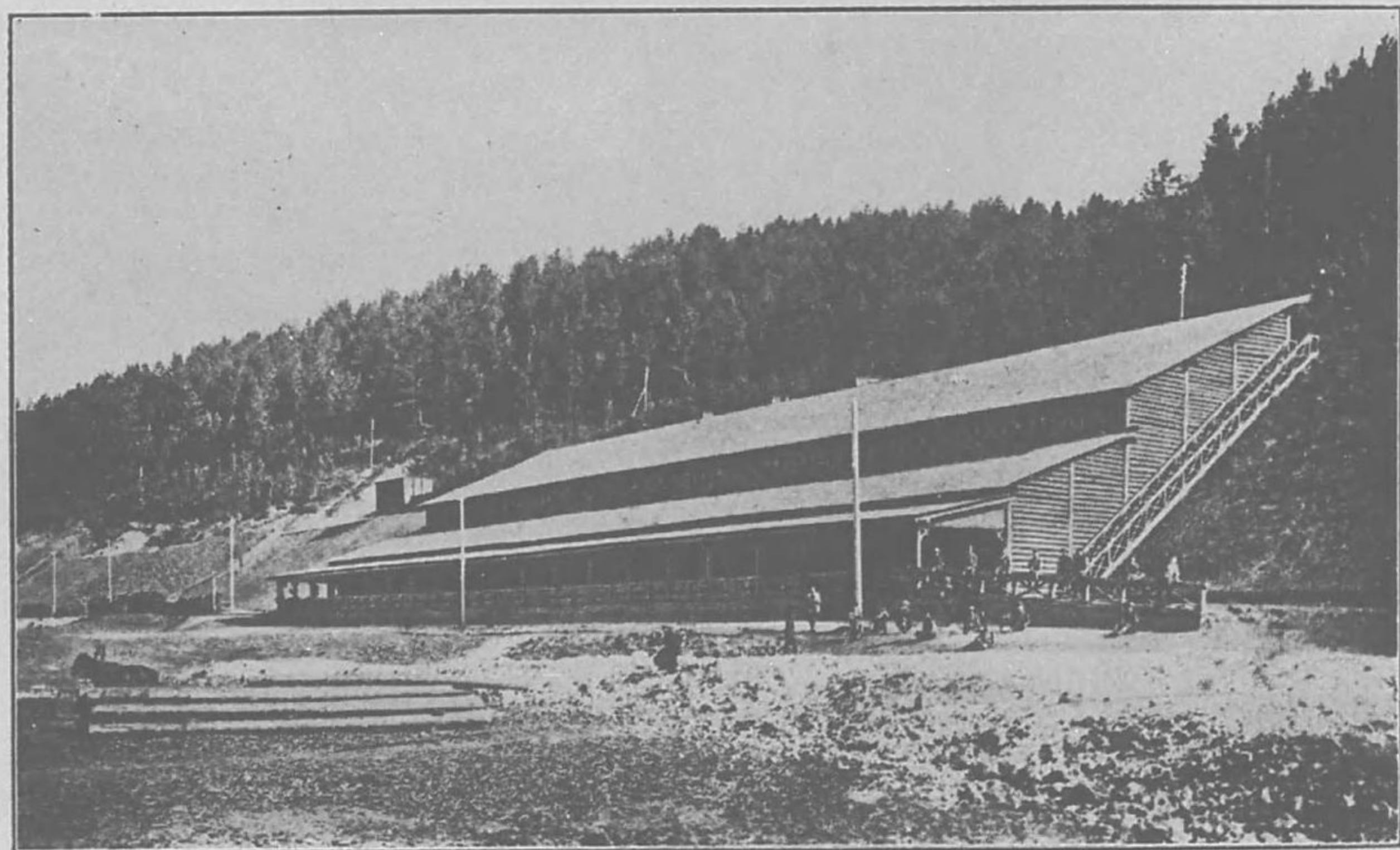
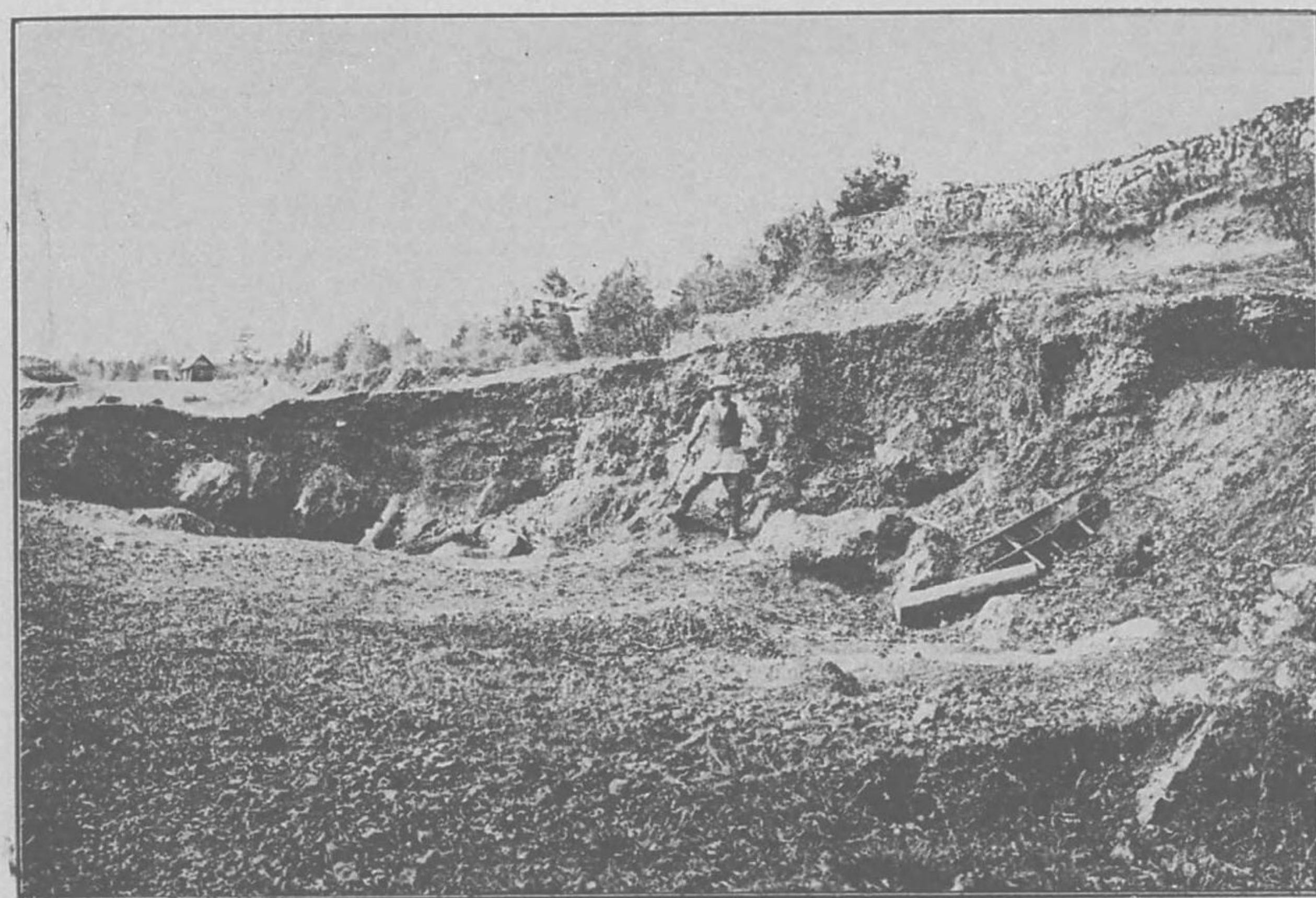
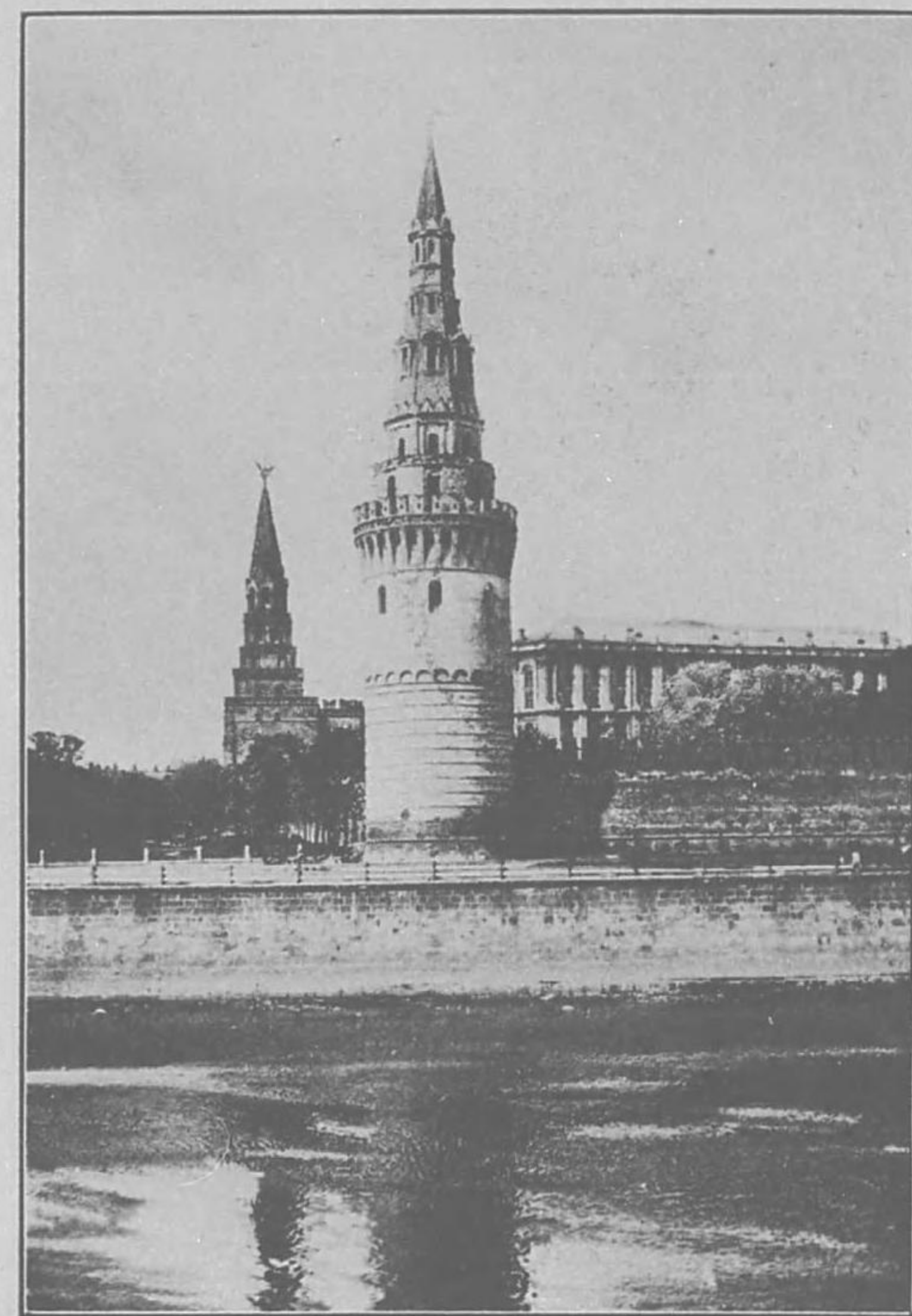
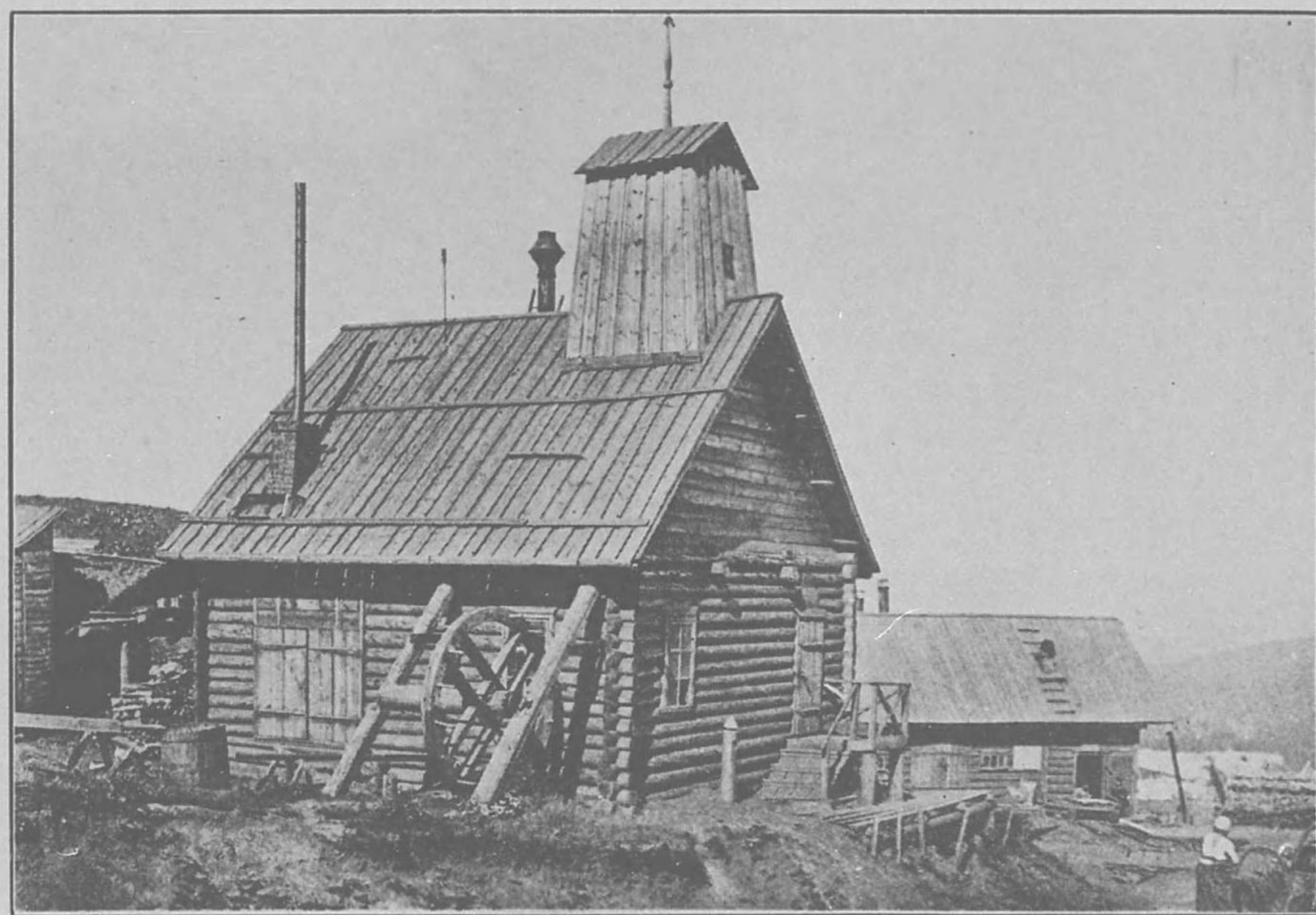
アレキサンダー二世像

亞歷山二世皇帝は自由主義の主上なりしを以て即位數年農奴制度を廢し農民に個人の自由を與へられたり世人其徳を稱し皇帝を呼て農奴解放者と言ふ。

ノフォデフィッチ女子修道院

モスコー市の一端に在り院内廣濶多くの尼僧を收容す。







クレムリ宮亞歷山公園の景(右上圖)

烏拉爾山探掘鑛物蓄積所(右下圖)

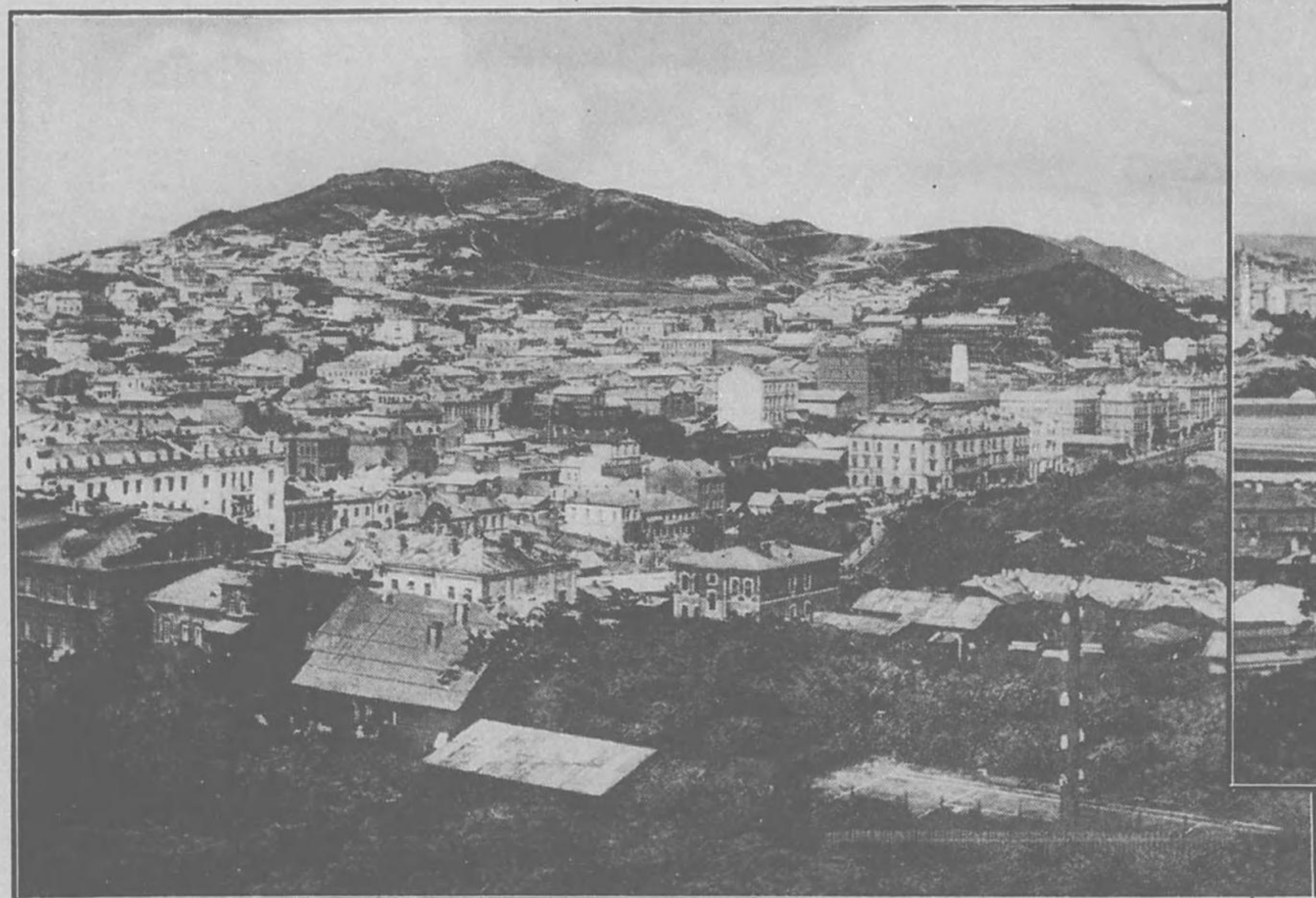
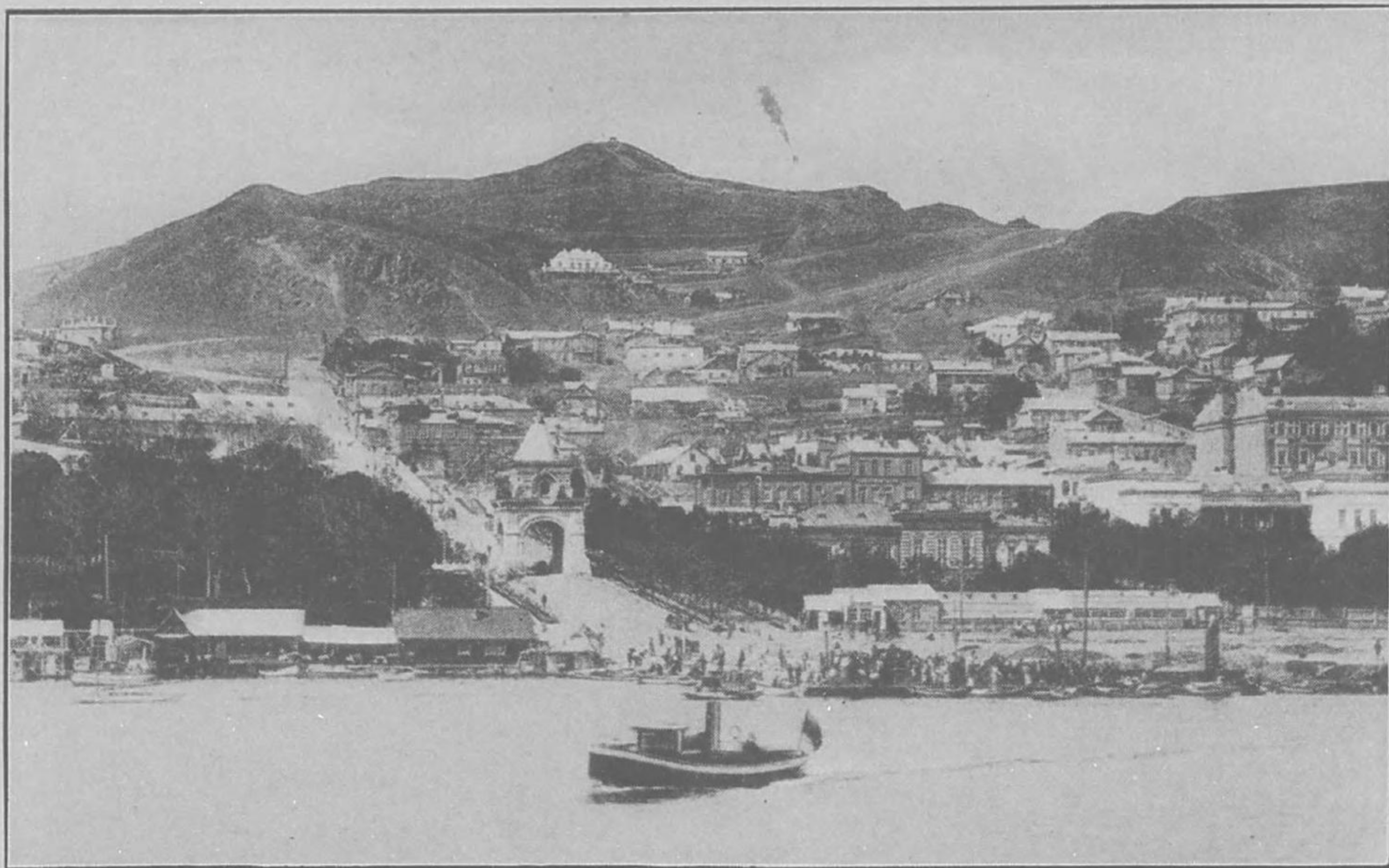
烏拉爾山鑛物試驗探掘場(左上圖)

烏拉爾山官立アフテンスキー滿俺鑛探掘  
の景(左下圖)

### ハルビン停車場

ハルビンは東清鐵道の中心點にして又北滿に於ける最大市場たり圖中の停車場プラットホームは實に明治四十二年十月伊藤公爵巡遊の次僅に露藏相に握手して場外に出てんとし韓人の兇徒に狙撃せられ敢なく落命せられたる處なり。





### 浦 鹽 斯 德

曩に清國の領土たりしも西曆一千八百六十年北京條約に據り露國の領土に入れり現時東洋に於ける露國唯一の軍港にして又要塞たり東清鐵道起點亦茲に存す市街の體裁未だ完備せざるも歐洲的市街たるを失はず。

## 敦賀港

敦賀港は越前国立石岬の東南方に在り長六海里幅二海里餘灣内水深く西方に常宮浦東南に金崎あり古來より日本海屈指の要津たるを以て夙に知港事を置き又渤海使臣の客館を設けられたることあり近代に在りては露領浦鹽斯德を經サイベリア鐵道に由りて歐洲諸國と相交通するの要港たるを以て其間に定期航海船あり又鐵路は近江の米原に至りて東海道線と接続し海陸の連絡を取れるを以て内外旅客の來往頓に劇増し百貨亦輻湊して益々繁盛に趨くの傾向ありと雖も其人口は未だ二萬を越ゆるに至らず。



明治四十三年十二月二十六日印刷  
明治四十三年十二月二十九日發行

(世界寫真帖與附)

著作兼  
發行者

田山宗堯

東京市日本橋區數寄屋町一番地

印刷者

福井久太郎

東京市日本橋區數寄屋町一番地

印刷所

警眼社印刷部

東京市日本橋區數寄屋町一番地



發行所

東京市日本橋區數寄屋町一番地

と  
心  
急  
商  
會

電話本局 二四九〇番  
振替口座東京八〇一〇番



終

